

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	牛乳パック・古紙リサイクル事業	所管	環境クリーン部 廃棄物対策課
			TEL 2998-9146

事業の目的 (何の為に 行うか)	家庭から排出される牛乳パックや、燃やせるごみとして出されていた紙類を回収し、ごみの減量と資源化を進めるために実施する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民及び市の出先機関	対象とした数	140	施設
		実際に 利用した数	140	施設

活動の内容	(何を したか)	①牛乳パックは、市の公共施設、JAなど43箇所に回収ボックスを置く拠点回収方式で回収、また、出張所、保育園、消防署などの市の出先機関の紙類は、品目別(新聞、雑誌、段ボール、コピー紙、ミックス古紙)に分別し、回収。②回収した牛乳パック、紙類は、古紙問屋に売り渡し再生利用。							
活動実績	項目名	牛乳パック回収量	7.8	項目名	市出先機関紙類回収量	68.6	項目名		単位
			t			t			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,084	2,076	4,988	14.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	森林資源の保護額	紙類の回収量 / 45kg = 森林資源保護本数	1,755	1,697	96.7
			単位 本	単位 本	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050400	TEL	2998-9146
事業コード	牛乳パック・古紙リサイクル事業					
050405	環境クリーン部 廃棄物対策課					
開始年度		平成 3 年度	—	終了年度	平成 年度	
グループ		減量・リサイクル				

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	一般廃棄物処理基本計画			廃棄物処理及び清掃に関する法律				
	関連・類似事業	庁内ごみ減量推進事業(廃棄物対策課)			所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル	中柱	1 ごみ減量とリサイクルの推進	小柱	(2)リサイクルの推進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位			・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***				
事業開始の背景	再生可能な資源物である牛乳パックについて、市民から回収することにより、紙類を燃やさずことなく資源として活用し、ごみ減量のきっかけづくりのために実施した。								

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)	家庭から排出される牛乳パックや、燃やせるごみとして出されていた紙類を回収し、ごみの減量と資源化を進めるために実施する。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方				利用数の考え方			
	対象数	単位	平成 18 年度	142	施設	平成 19 年度	140	施設	施設数
	市民及び市の出先機関	牛乳パック及び古紙回収を行っている施設数							
	事業の具体的な内容及び実施方法	①牛乳パックは、市の公共施設、JAなど49箇所に回収ボックスを置く拠点回収方式で回収、また、出張所、保育園、消防署などの市の出先機関の紙類は、品目別(新聞、雑誌、段ボール、コピー紙、ミックス古紙)に分別し、回収。②回収した牛乳パック、紙類は、古紙問屋に売り渡し再生利用。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
平成19年度中に改善した点			
新聞の広告やコピー用紙の切れ端などが雑紙として扱われるケースがあるため、適正に分別されるよう指導した。また、集団資源回収説明会において、牛乳パックや古紙のリサイクルの現状を説明し、牛乳パック回収等の取り組み拡大の啓発を行った。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		2,002	2,084	2,268
	決算(見込み含む)		2,000	2,076	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		0.31 人 2,852	0.31 人 2,912	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		4,852	4,988	
	財源内訳	一般財源	4,399	4,497	1,768
	国・県支出金				
	受益者負担金				
市債					
その他		453	491	500	
市民一人当たり(単位:円)		14.4	14.7		
利用数一単位あたり(単位:円)		34,169.0	35,629.6		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	牛乳パック回収量	実績	t	7.8	7.8	8.1
	市出先機関紙類回収量	実績	t	73.4	68.6	72.1	
	成果分析	森林資源の保護額	紙類の回収量/45kg=森林資源保護本数	本	目標値 1,755	1,755	1,755
			%	実績 1,804	1,697	実績値の拡大を図る1	実績値の縮小を図る2
			%	達成率 102.8	96.7		1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 委託業者 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	依然として、牛乳パックの回収ボックスに異物(ごみ)を入れられることがあるため、資源物の回収ボックスである旨を解りやすく表示する必要がある。また、回収ボックスが老朽化しているため、平成19年度から順次交換しているが、平成20年度で全箇所入れ替える予定である。ここ数年、牛乳パックの回収量が減少傾向にあるため、今後も引き続き、チラシの作成や広報・ホームページに掲載することにより事業のPRを図る必要がある。		
	評価理由	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	牛乳パック回収量の増加	8.1t	平成20年度末
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
平成19年度における回収拠点となっている施設からの牛乳パック及び古紙の回収量は、76.4tであり、その分の燃やせるごみを減量・資源化できるだけでなく、約1,697本相当の森林資源が保護されたことになる。この事業は、継続的に続けることが重要であることから、チラシの作成や広報・ホームページに掲載することにより拠点箇所などのPRをし、事業の充実を図る。				
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	廃棄物対策課主幹 二上 清次	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性	
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了	
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	評価理由	評価日	
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い 高い やや低い 低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	評価日	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	322
	施策の体系	3-2資源循環の促進	施策の方向	3-2リユース・リサイクルの推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				